

## 2008年度政務調査費使用状況報告

### 1. 2008年度政務調査費の概要について

日本共産党区議団は2008年度政務調査費総額1596万円の支給を受け、その内1591万6977円を使用しました。政務調査費の活用は下記の通りです。なお、残額43,023円は区に返却します。

1・・・調査研究費	1,505,201円
2・・・研修費	298,735円
3・・・会議費	14,000円
4・・・資料費	1,307,005円
5・・・広報/活動費	5,717,869円
6・・・事務費	2,587,791円
7・・・人件費	4,486,376円

### 2. 日本共産党区議団の政務調査費活用の特徴について

① 前年度に続いて区政の状況報告と区民意見聴取を重点課題として「広報・活動費」に総額の35.92%を活用しました。区民要望をとらえ施策に反映させることが議員の大きな役割です。そのため、08年度は区議団報告を3回発行し2回は全戸配布・1回は新聞折込をおこない総数で45万4700枚を配布しました。さらに7名の議員が週1回の個人ニュースを発行。09年1月から全戸に配布した区政アンケートは15万枚を配布し、3月末で約1174通の返信をいただきました。なお、アンケートについては調査研究費で印刷、返信受取り料金を支出しています。

② 「調査研究費」「研修費」は岩手県の自然エネルギー先進自治体調査、地方自治を基礎から学ぶ第3回市町村議会議員研修会、地球温暖化シンポジウム、第50回自治体学校、第40回保育合研究集会TOKYO参加費、商工問題学習会講師料、第2回景観と住環境を考える全国ネットワーク全国集会、小中一貫教育全国サミット、障害者施設セミナー、憲法が生きる教育東京集会などに参加し党区議団としての研究をおこないました。

③ 「人件費」に総額の28.18%を活用しました。

議員団の条例提案や質問に必要な情報と資料収集、分析など、政務調査活動の補助として専任事務局員を1名配置しています。また、アンケート集約にはアルバイトも配置してきました。

④ 「事務費」は総額の16.26%でした。

主たる内容は党区議団ホームページの更新事務委託料や事務機器の保守点検費用となります。ホームページ管理更新、セキュリティ、インターネット、コピーリースなどを支出。ホームページは本会議質問や区政問題をお知らせし、新聞折込のニュースと合わせて区民意見を聞き、発信する重要な媒体として位置付けています。区政上の問題があれば党区議団の見解も明らかにしています。

⑤ 日本共産党区議団のこうした調査・研究・研修の成果は予算・決算・本会議質問などで活用されています。区商連との懇談で「装飾灯の電気代が大きな負担となっている」との要望が出され、3度にわたる質問をおこない補助率引き上げがおこなわれました。また、区民との共同で追求してきた特別養護老人ホームの増設などが実現しています。条例については「品川区高齢者医療費入院時負担軽減支援金の支給に関する条例」を提案。高齢者の生活は、年金、介護、医療の負担増と後期高齢者医療制度により不安が高まっています。アンケートでは70%が医療不安を訴えていることから入院時負担を援助するために提案。同条例は08年6月議会および09年3月議会で二度に渡って提案しました。また、09年度予算要望として143項目を区長に提出しました。以上が日本共産党区議団の2008年度政務調査費使用状況の概要です。